

2023年度 第3四半期決算

2024年1月31日

富士電機株式会社

1.	2023年度 第3四半期実績(対前年)	P. 3
2.	貸借対照表	P. 12
3.	2023年度 業績予想(対10/26予想)	P. 14
4.	補足資料	P. 16

1. 2023年度 第3四半期実績 (対前年)

第3四半期累計 連結業績概要 (対前年)

売上高、営業損益、経常損益、純損益は過去最高を更新

(単位: 億円)

	2022年度	2023年度	増減
売上高	6,908	7,597	689
営業損益 (営業利益率)	424 (6.1%)	577 (7.6%)	152 (1.4%)
経常損益	413	566	154
特別損益	83	60	-23
税金等調整前 四半期純損益	496	626	130
法人税等	164	211	47
非支配株主に帰属する 四半期純損益	43	43	0
親会社株主に帰属する 四半期純損益	290	373	83

(期末レート: 12月末)

(単位: 円)

US\$	132.70	141.83	9.13
EURO	141.47	157.12	15.65
RMB	19.01	19.93	0.92

(平均為替レート)

(単位: 円)

US\$	136.51	143.29	6.78
EURO	140.59	155.29	14.70
RMB	19.88	19.98	0.10

売上高増減

海外子会社の為替換算差による増収	+118
需要増	+570

営業損益増減

物量・生産増	+210
固定費増	-143
為替影響	+20
その他*	+66
	+152

*コストダウン、価格変動、機種構成差等

営業外損益増減

金融収支	-6	(15 → 8)
為替差損益	13	(-8 → 5)
その他	-6	(-18 → -24)
	2	(-12 → -10)

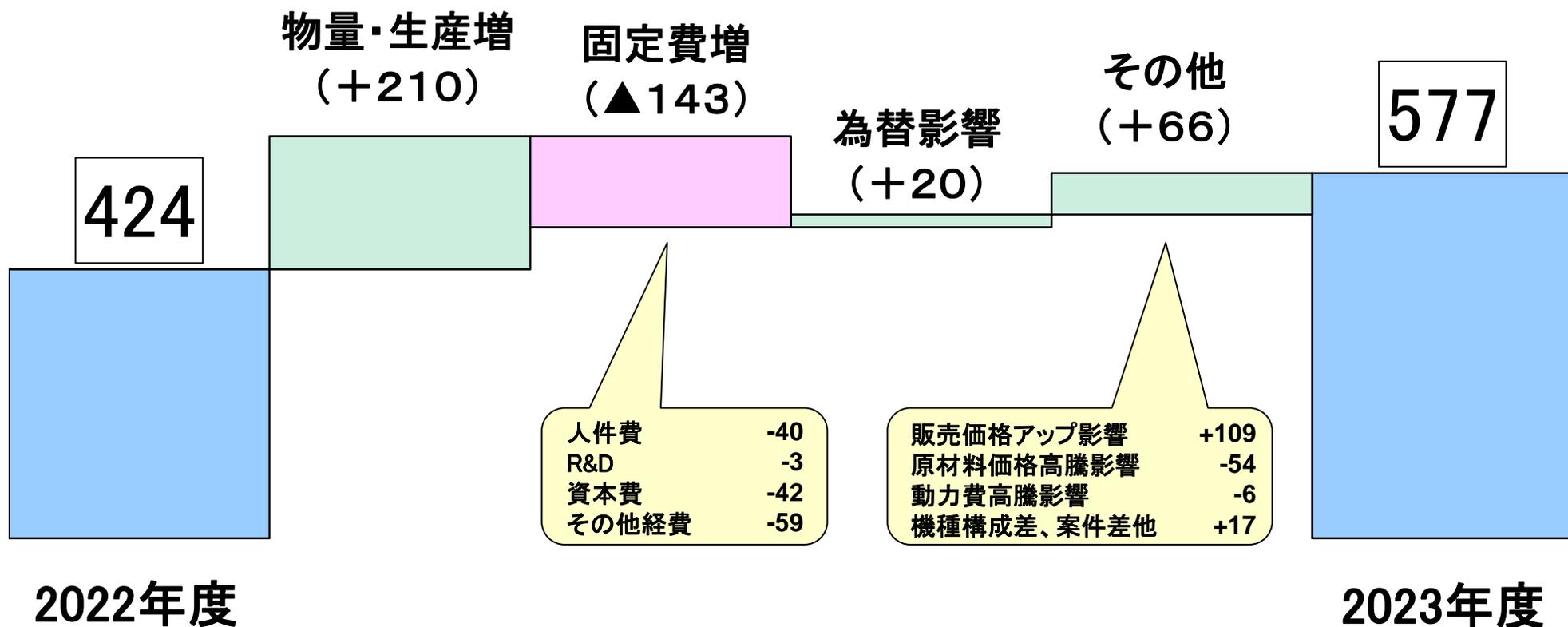
特別損益増減

投資有価証券売却損益	-29	(89 → 60)
その他	6	(-5 → 0)
	-23	(83 → 60)

第3四半期累計 営業損益増減分析 (対前年)

原材料価格高騰や人件費等の固定費増による悪化影響があるものの
物量・生産増や販売価格アップ等により増益

(単位: 億円)



第3四半期累計 セグメント別売上高・営業損益 (対前年)

売上高は、全セグメントで増収
 営業損益は、インダストリー、半導体、食品流通で増益

(単位: 億円)

	2022年度			2023年度			増減		
	売上高	営業損益	営業利益率	売上高	営業損益	営業利益率	売上高	営業損益	営業利益率
エネルギー	2,257	153	6.8%	2,293	144	6.3%	36	-8	-0.5%
インダストリー	2,422	41	1.7%	2,791	115	4.1%	369	73	2.4%
半導体	1,469	225	15.3%	1,665	264	15.9%	196	40	0.6%
食品流通	684	29	4.2%	795	69	8.7%	111	40	4.4%
その他	432	25	5.7%	467	30	6.4%	35	5	0.7%
消去または全社	-356	-48	-	-414	-46	-	-58	2	-
合計	6,908	424	6.1%	7,597	577	7.6%	689	152	1.4%

※ 2022年度実績は、2023年度の事業組替の数値を反映しています。

第3四半期累計 セグメント別概況①(対前年)

(単位:億円)

		2022年度	2023年度	増減	概況
エネルギー	売上高	2,257	2,293	36 +37*	発電プラント 21%減収 前期の再生可能エネルギー大口案件の影響等により売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。 エネルギーマネジメント 10%増収 産業向け変電機器及び電源機器の大口案件の増加等により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。
	営業損益	153	144	-8 +3*	施設・電源システム 25%増収 データセンター及び半導体メーカ向け案件の増加により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。 器具 10%減収 機械セットメーカ及び半導体製造装置関連の需要減少等により、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。
インダストリー	売上高	2,422	2,791	369 +33*	オートメーション 9%増収 ファクトリーオートメーションにおけるコンポーネントの生産増を主因に、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。
	営業損益	41	115	73 +3*	社会ソリューション 26%増収 原子力関連機器案件や放射線機器案件の増加等により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。 設備工事 25%増収 空調設備工事の大口案件等により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。 ITソリューション 12%増収 公共及び文教分野の大口案件等の需要増加により、売上高は前年同期を上回りましたが、営業損益は案件差等により前年同期を下回りました。

※ 2022年度実績は、2023年度の事業組替の数値を反映しています。

*為替影響

第3四半期累計 セグメント別概況②(対前年)

(単位:億円)

		2022年度	2023年度	増減	概況												
半導体	売上高	1,469	1,665	196 +47*	電動車(xEV)向けパワー半導体の需要拡大により、売上高は前年同期を上回りました。 営業損益は、パワー半導体の生産能力増強に係る費用の増加、原材料価格の高騰があったものの、 売上高の増加により、前年同期を上回りました。												
	営業損益	225	264	40 +14*													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>売上高内訳</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業</td> <td>785</td> <td>736</td> <td>-49</td> </tr> <tr> <td>電装</td> <td>684</td> <td>929</td> <td>245</td> </tr> </tbody> </table>			売上高内訳	2022年度	2023年度	増減	産業	785	736	-49	電装	684	929	245	
売上高内訳	2022年度	2023年度	増減														
産業	785	736	-49														
電装	684	929	245														
食品流通	売上高	684	795	111	自販機 9%増収 国内の需要拡大に加え、原価低減の推進等により、 売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。 店舗流通 23%増収 コンビニエンスストア向け店舗設備機器の改装需要拡大に加え、カウンター機材案件の増加により、 売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。												
	営業損益	29	69	40													

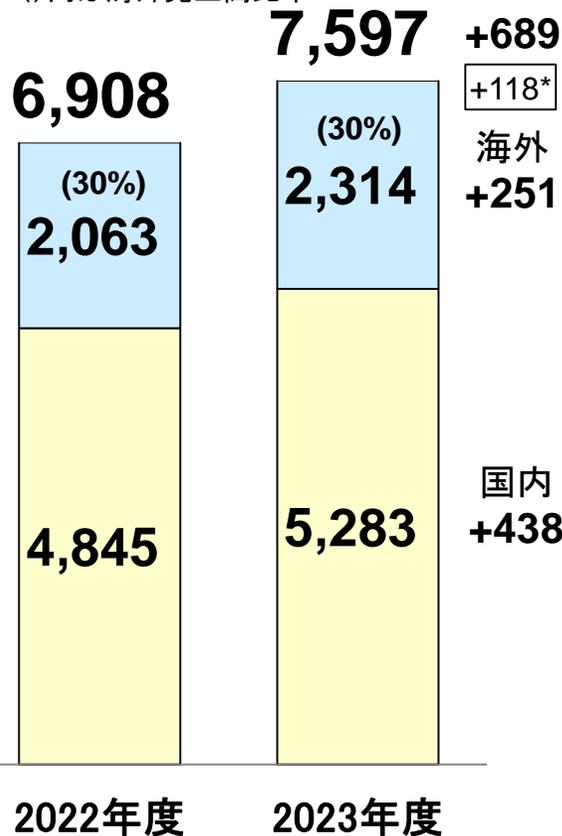
*為替影響

第3四半期累計 国内/海外・地域別売上高 (対前年)

全ての地域で増収
 (中国は為替影響を除くと減収)

(単位:億円)
 ()内は海外売上高比率

対前年



(単位:億円)

	2022年度	2023年度	増減
海外	2,063	2,314	+118*
アジア他	1,022	1,156	+50*
中国	646	659	+29*
欧州	218	272	+26*
米州	177	226	+12*

*為替影響

発電プラント	-54
エネルギーマネジメント	+31
施設・電源システム	+118
器具	-24
オートメーション	+10
半導体	+53

エネルギーマネジメント	+3
器具	-6
半導体	+9
食品流通	+3

オートメーション	+12
半導体	+44

発電プラント	+9
エネルギーマネジメント	+11
施設・電源システム	+29
器具	-11
社会ソリューション	+12

※ 2022年度実績は、2023年度の事業組替の数値を反映しています。

第3四半期累計 主要コンポーネント 受注高

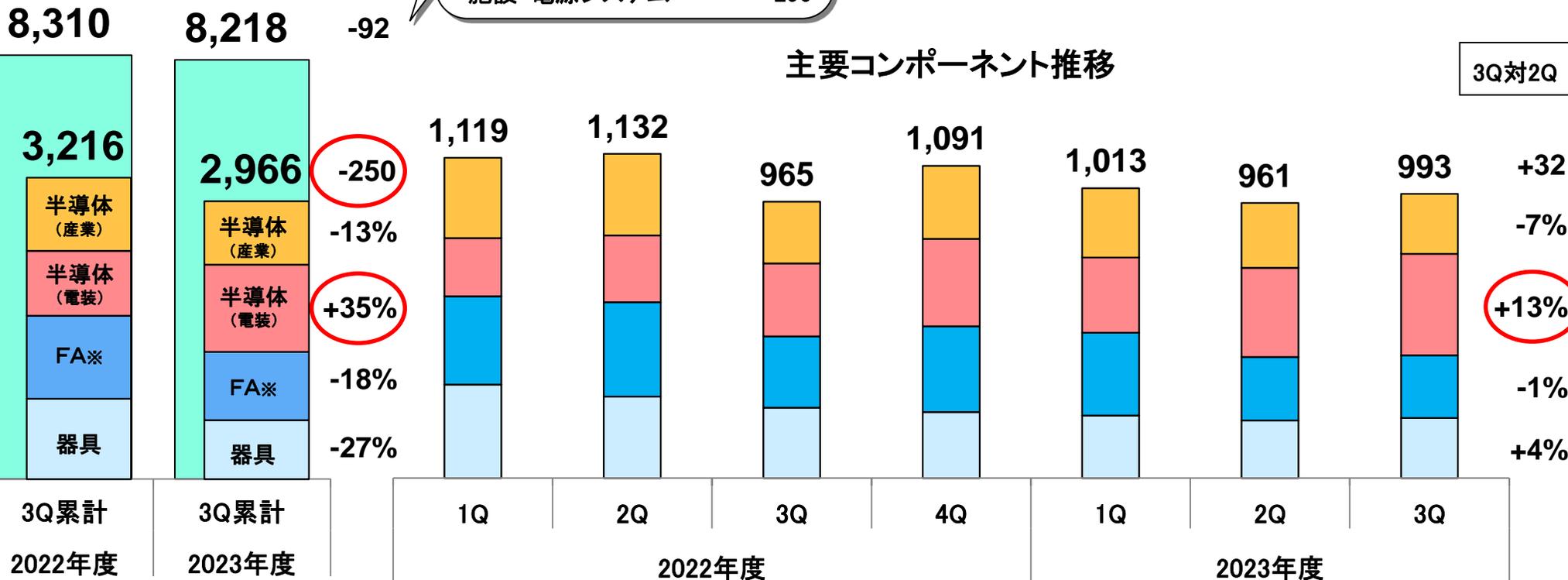
半導体(電装)は好調継続も、産業向けコンポーネントは減少

<プラント・システム案件の増減>

発電プラント	+213
社会ソリューション	+117
エネルギーマネジメント	+78
設備工事	+78
施設・電源システム	-296

(単位:億円)

対前年



※FA: 低圧インバータ、回転機、FAコンポーネント、計測機器

2. 貸借対照表

第3四半期末 連結貸借対照表 (対前年度末)

(単位:億円)

資産の部	23/3/31	23/12/31	増減
現金及び預金	847	525	-322
売上債権	3,885	3,636	-249
棚卸資産	1,987	2,387	400
その他	417	619	203
流動資産 計	7,136	7,168	32
有形固定資産	2,839	2,938	99
無形固定資産	240	252	12
投資その他の資産	1,600	1,587	-14
固定資産 計	4,679	4,776	97
繰延資産	1	0	-0
資産 合計	11,816	11,945	129
ネット有利子負債※1	991	1,232	241
ネットD/Eレシオ※2	0.2倍	0.2倍	0.0倍
自己資本比率	43.8%	45.9%	2.2%

負債、純資産の部	23/3/31	23/12/31	増減
買入債務	2,016	1,832	-184
有利子負債	1,833	1,752	-81
その他負債	2,246	2,318	72
負債 合計	6,095	5,902	-193
資本金	476	476	-
資本剰余金	460	460	0
利益剰余金	3,649	3,850	201
自己株式	-74	-74	-0
株主資本	4,511	4,712	201
その他の包括利益累計額	660	774	114
非支配株主持分	550	557	7
純資産 合計	5,721	6,043	322
負債・純資産 合計	11,816	11,945	129

※1 ネット有利子負債：有利子負債-現金及び現金同等物

※2 ネットD/Eレシオ：ネット有利子負債 ÷ 自己資本

3. 2023年度 業績予想 (対10/26予想)

通期 連結業績概要 (対10/26予想)

第3四半期決算を踏まえ、通期業績予想を上方修正

(単位:億円)	10/26予想	1/31予想	増減
売上高	10,600	10,700	+11* 100
営業損益 (営業利益率)	960 (9.1%)	1,000 (9.3%)	+7* 40 (0.2%)
経常損益	945	990	45
親会社株主に帰属する 当期純損益	645	680	35

4Qの前提為替レート			
	US\$	EURO	RMB
10/26予想	¥140.00	¥150.00	¥19.50
1/31予想	(変更なし)	(変更なし)	(変更なし)
為替感応度※ (億円)	0.2	0.5	1.0

*営業損益ベース(1-3月の3ヶ月影響)
 US\$、EUROは1円円安変動影響、RMBは1%円安変動影響

(単位:億円)	10/26予想		1/31予想		増減	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
エネルギー	3,320	270	3,310	263	+11* -10	+2* -7
インダストリー	4,060	326	4,100	329	40	3
半導体	2,230	343	2,240	357	10	+5* 14
食品流通	990	65	1,040	77	50	12
その他	600	38	610	42	10	4
消去または全社	-600	-82	-600	-68	0	14
合計	10,600	960	10,700	1,000	100	40

*為替影響

4. 補足資料

補足資料

■器具受注高

	3Q(対2Q)	3Q(対前年)
全体	+4%	-15%
国内	+10%	-25%
海外	-9%	+40%

3Q累計(対前年)
-27%
-31%
-13%

■低圧インバータ受注高

	3Q(対2Q)	3Q(対前年)
全体	-3%	-20%
国内	+17%	-36%
海外	-11%	-9%

3Q累計(対前年)
-39%
-47%
-35%

■半導体受注高

	3Q(対2Q)	3Q(対前年)
全体	+5%	+20%
産業	-7%	-3%
電装	+13%	+39%

3Q累計(対前年)
+9%
-13%
+35%

■自販機受注高

	3Q(対2Q)	3Q(対前年)
全体	-6%	-5%

3Q累計(対前年)
+9%

補足資料 通期 連結業績概要 (対前年)

(単位: 億円)	2022年度 実績	2023年度 1/31予想	増減	
売上高	10,094	10,700	+93*	606
営業損益 (営業利益率)	889 (8.8%)	1,000 (9.3%)	+23*	111 (0.5%)
経常損益	878	990		112
親会社株主に帰属する 当期純損益	613	680		67

(単位: 億円)	2022年度 実績		2023年度 1/31予想		増減			
	売上高	営業 損益	売上高	営業 損益	売上高		営業 損益	
エネルギー	3,333	286	3,310	263	+44*	-23	+6*	-23
インダストリー	3,698	268	4,100	329	+24*	402	+4*	61
半導体	2,062	322	2,240	357	+25*	178	+13*	35
食品流通	953	44	1,040	77		87		33
その他	598	37	610	42		12		5
消去または全社	-549	-67	-600	-68		-51		-1
合計	10,094	889	10,700	1,000		606		111

*為替影響

1. 本資料は法律に基づく監査手続の対象外であり、本説明会の時点において、法律に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。
2. 本資料及び本説明会に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
3. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘するものではありません。
4. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。